

### ■（１１３）帰国便を探せ ～海外の大事件・大事故取材

グアムから中部空港に帰国した男女が、悲惨な現場の様子を語っていた。テレビの昼のニュースでのこと。現地の繁華街で前夜、多数の日本人観光客が暴走車にはねられ、運転していた男に刃物で襲われた。そのグアムから、事件後に初めて同空港に戻った日本人の証言だった。

海外で日本人が巻き込まれる事件や事故が起きると、新聞社やテレビ局は現地からの帰国便を探す。記者が空港の到着ロビーで待ち構え、出てきた人に声をかけて回る。「何かご存じないですか？」。多くの旅行者が出入国する国際空港は、情報の集積地だ。都心から遠い成田空港などには大勢の記者が常駐し、様々な取材に当たっている。帰国便取材も大事な役目である。もちろん、被害者か犯人、あるいは捜査当局や消防に取材するのが最重要なので、各社は急いで記者を現地に派遣する。だが、日本から現地に着くまでに現場が片付けられ、目撃者が立ち去っているかもしれない。ならば次善の策を取っておこうというのが空港での帰国便取材だ。

インターネットには様々な現場情報が流れる。記事の参考にしたくなる。でも、真偽を確かめられないなら、あきらめる。他人のパソコンを遠隔操作するような悪者がいる昨今だから。（山）